

第1章 ミネベアミツミの価値創造ストーリー

ミネベアミツミの歩み

他社に先駆けてグローバルに展開 M&Aによるスピーディーな多角化

1963年
埼玉県川口市から工場を移転し、長野県御代田町で
**全世界のマザー工場となる
軽井沢本社工場**にて操業開始



軽井沢工場（日本）



ミニチュアボールベアリング

1972年
シンガポールに
初の海外自社工場を建設



チャイチャー工場（シンガポール）

1980年
アユタヤ工場を設立
グループ最大拠点となるタイに初進出



アユタヤ工場（タイ）

1984年
**タイで2番目の拠点
となるバンパイン工場を設立**



バンパイン工場（タイ）

1980年代
～
1990年代

1980年
**小径サイズの
ボールベアリングの
生産を開始**



小径ボールベアリング



光洋精工（株）シンガポール工場（現 NMB Singapore ジュロン工場）

1971年
米国で**当社初の
海外生産を開始**

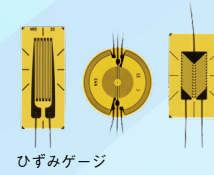


SKF 社リード工場
（米国、現 NHBB チャッツワース工場）

1974年
**電子機器分野
（計測機器・現 センシング
デバイス事業部）に進出**



新興通信工業（現 ミネベアミツミ
（株）センシングデバイス事業部）



ひずみゲージ

M&A

創業1951年7月

東京都板橋区小豆沢において、わが国初のミニチュアベアリング専門メーカー「日本ミニチュアベアリング株式会社」を設立。

1986年
浜松工場を設立
電子機器分野の開発を拡大



浜松工場（日本）



FDD・MOD

1988年
タイ ロップリ工場を設立
電子機器分野の生産を拡大



ロップリ工場（タイ）

1994年
ベアリングやファン
モーターを部品か
ら一貫生産する
**上海ミネベア
（中国で初の自
社工場）を設立**



上海工場（中国）

2010年
蘇州工場を設立し、
LEDバックライトの生産を拡大



蘇州工場（中国）



バックライト

2010年
カンボジアで工場を設立し、翌年に生産を開始
リスク分散、生産の拡大とコスト低減



カンボジア工場



レゾナントデバイス

2018年
スロバキア コシツェ工場にて生産を開始
欧州市場への供給を拡大



コシツェ工場（スロバキア）



グリルシャッター
アクチュエーター

2000年代
以降

2015年
ドイツの大手計測機器メーカーを買収
欧州やインドでの生産と供給を拡大



Sartorius Mechatronics T&H GmbH
（ドイツ、現ミネベア・インテック ハンブルク工場）

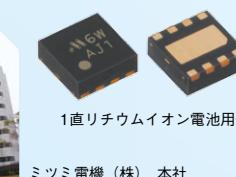


センシングデバイス

2017年
ミツミ電機（株）と株式交換により経営統合を実施
**機械・電子技術と制御技術を融合した
「エレクトロ メカニクス ソリューションズ®」
プロバイダーとして、各事業の成長を加速**



ミツミ電機（株） 本社



1直リチウムイオン電池用保護IC

1985年
米国のベアリングメーカーを買収
米国市場への供給を拡大



New Hampshire Ball Bearings,
Inc.（米国、現 NHBB ビーター
ボロー工場）



航空機部品

2009年
マイクロアクチュエーターの生産を開始
**モーターの
生産拠点を増設**



（株）FDK メカトロニクス
（タイ、現 ナワナコン工場）

マイクロアクチュエーター

2010年
ブラシレスモーターの生産を開始
**モーターの
製品ラインナップを拡大**



パナソニック（株）モータ社
情報モータ事業部（現 米子工場）



DC モーター

1988年
英国のロッドエンド
ベアリングメーカーを買収
欧州市場への供給を拡大



Rose Bearings Ltd.（英国、現
NMB-Minebea UK リンカーン工場）

2019年
株式公開買付けにより（株）ユーシンと経営統合を実施
新たな「相合」力により、**自動車・住宅設備・
産業機械分野でのシナジー創出**



（株）ユーシン（広島工場）



ドアハンドル
電動ステアリングロック

第1章 ミネベアミツミの価値創造ストーリー

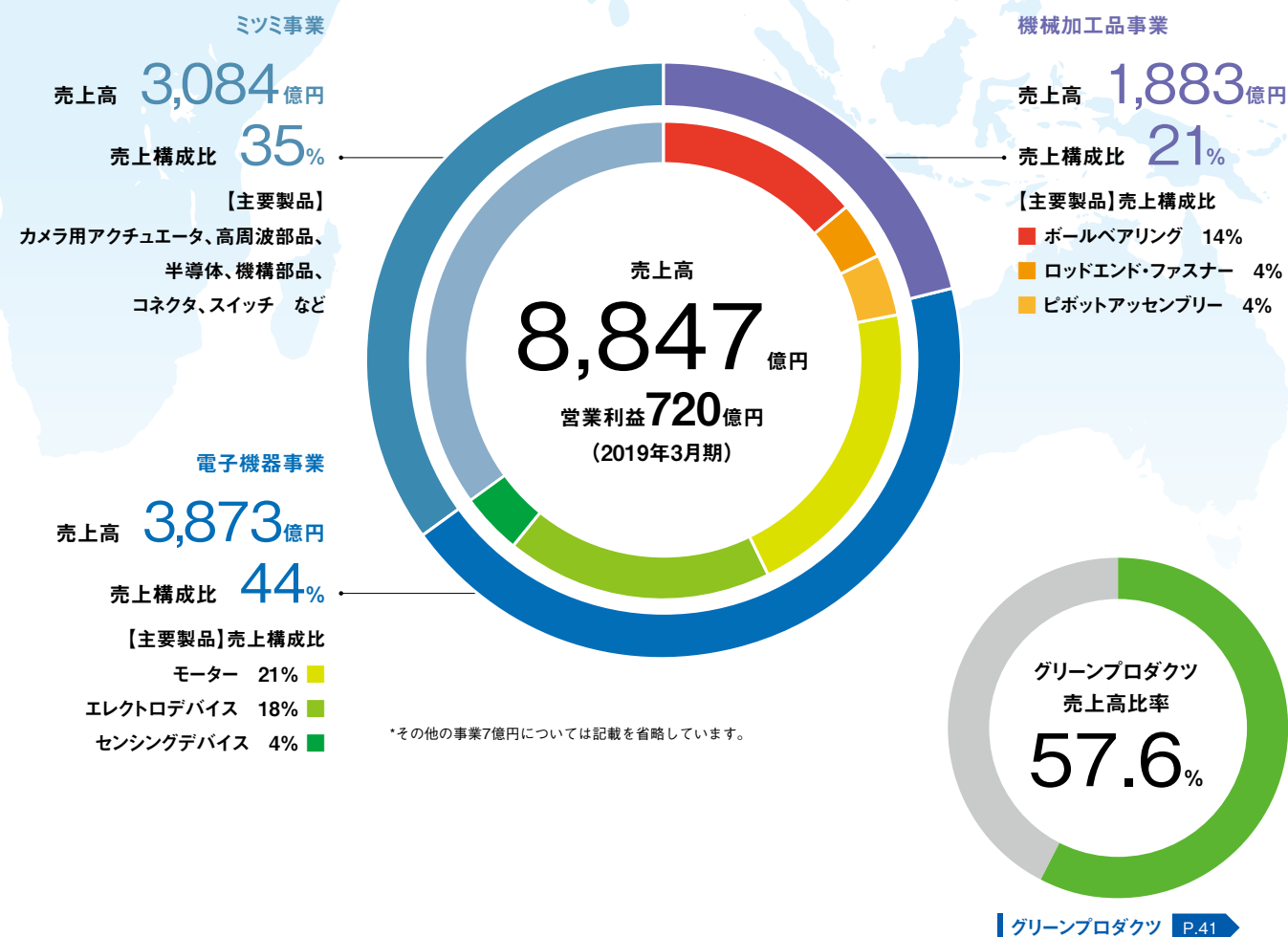
ミネベアミツミの今

世界No.1の製品群で 他社にはない強みを発揮

ミネベアミツミは、外径22mm以下のミニチュア・小径ボールベアリングにおいて、世界で60%のトップシェアを誇ります。
さらに、ベアリングで培った**超精密機械加工技術**、**大量生産技術**をさまざまな分野に応用し、
世界市場で超高品質製品を生み出し、**オンリーワンのものづくり**を実現しています。
超精密機械加工技術を活かしたベアリングは、摩擦や抵抗を減らして
あらゆる“動くモノ”の高効率・高寿命化を実現し、省エネルギーに貢献しています。

超高品質な製品群

コングロマリット・プレミアムが奏功し、2019年3月期の業績は売上高、営業利益、当期利益のすべてにおいて過去最高となりました。



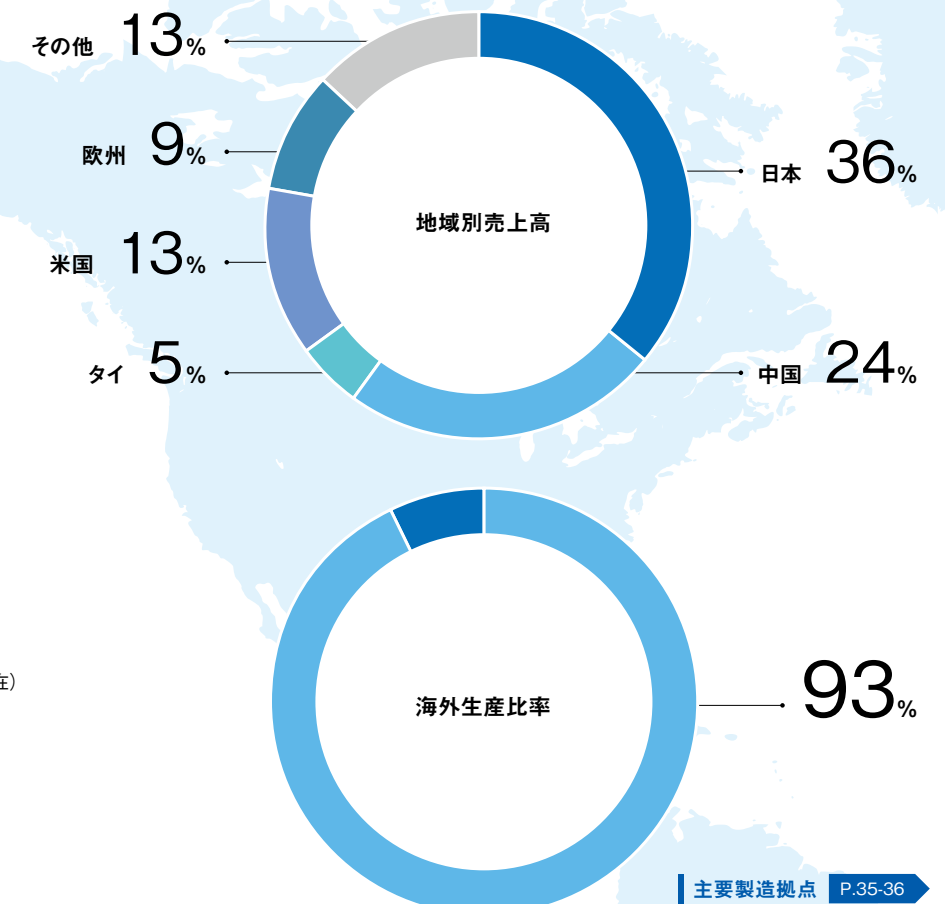
世界市場で高品質製品を創出

生産・販売のグローバル体制を構築し、地産地消に対応するとともに、為替、災害、地政学的なリスクを低減しています。

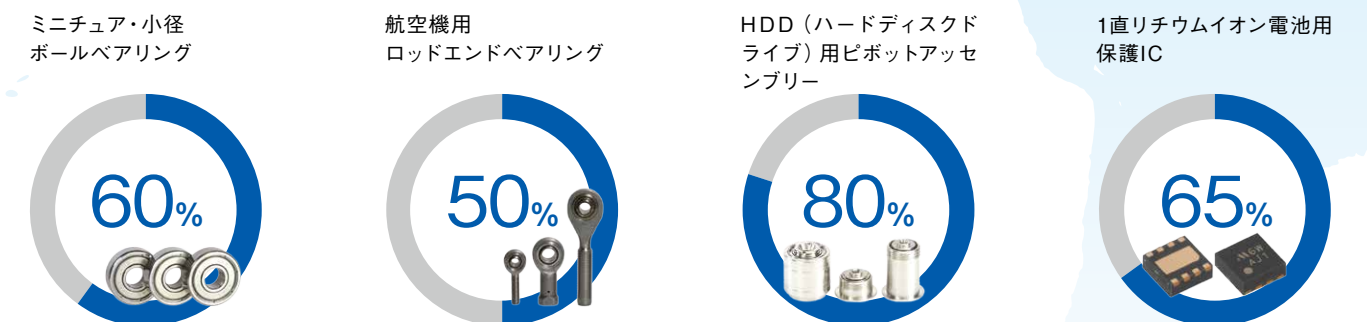
27カ国

83製造拠点

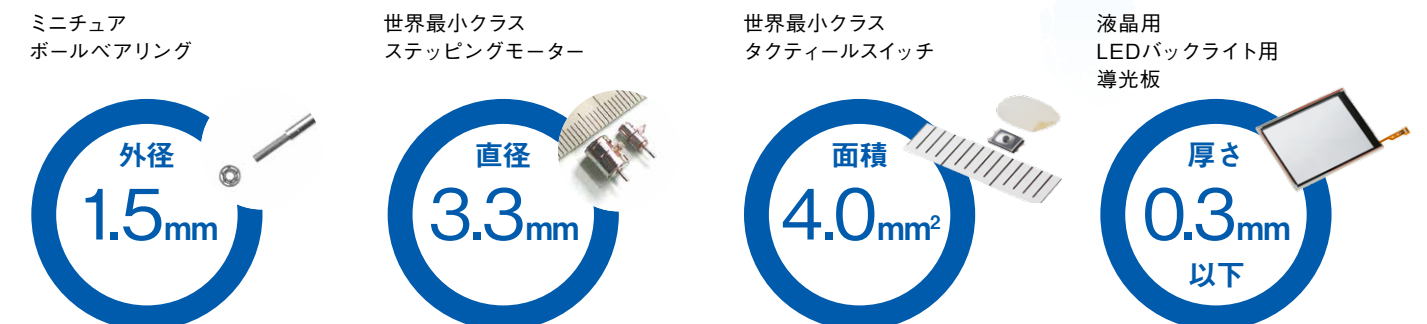
80営業拠点
(2019年4月10日現在)



世界シェアNo.1



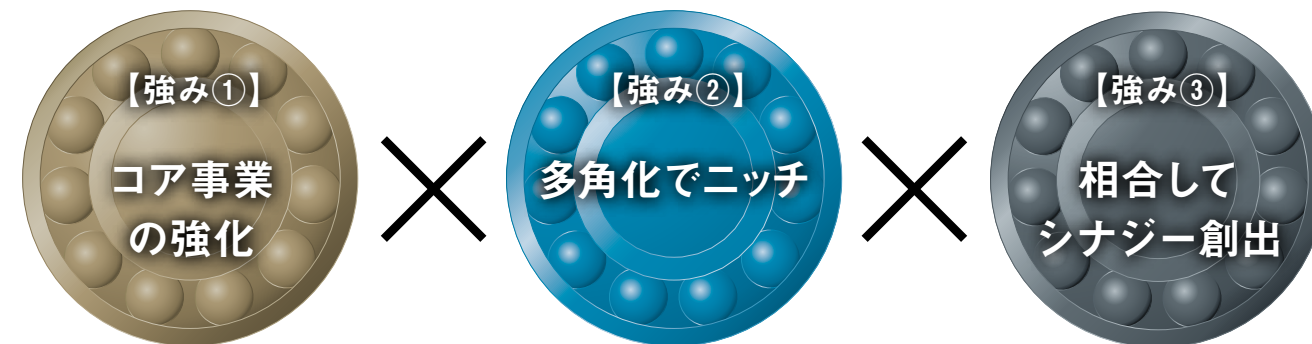
世界最小



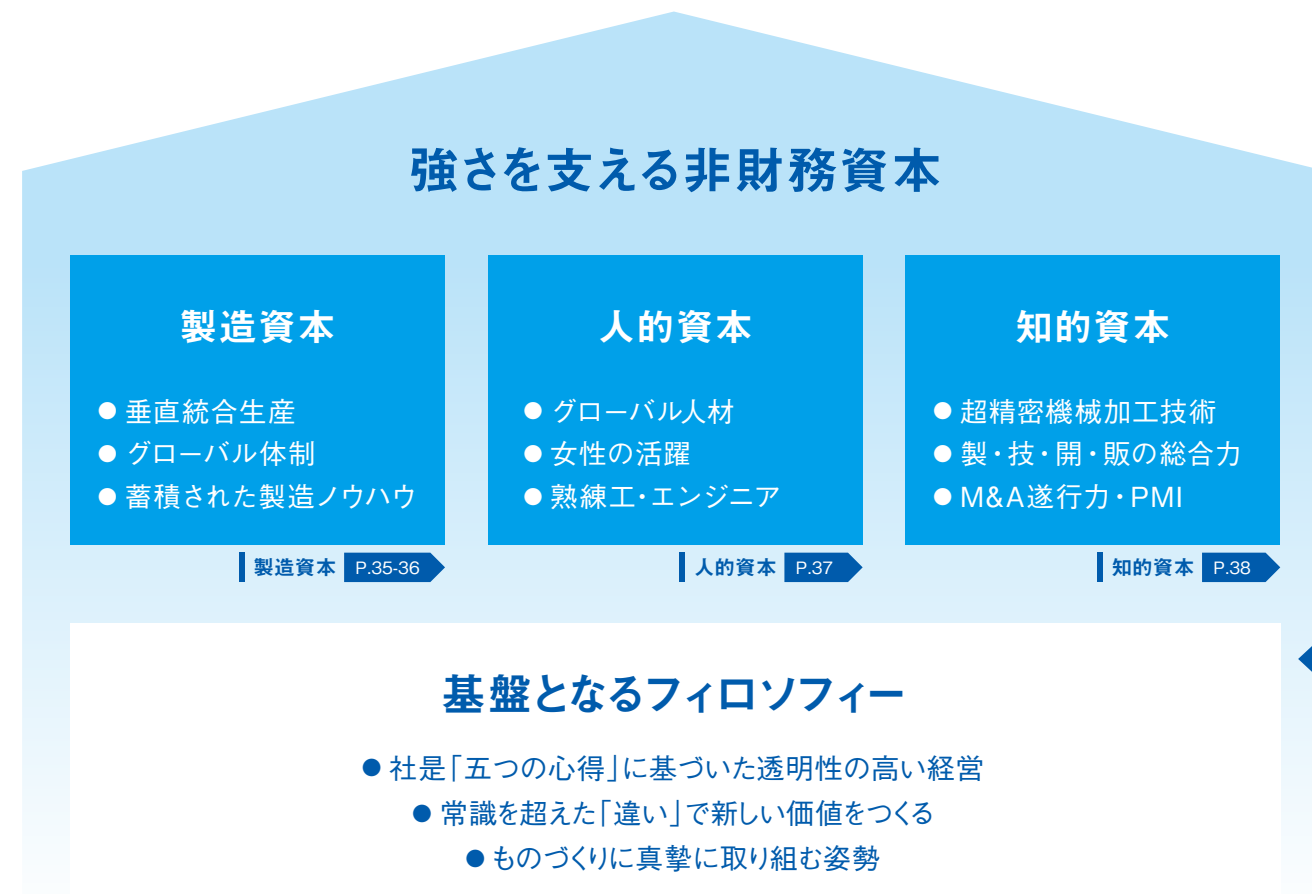
第1章 ミネベアミツミの価値創造ストーリー

ミネベアミツミの価値創造モデル

3つの強みで持続的に成長



ミネベアミツミグループの 持続的成長



ミネベアミツミの強みは、「コア事業の強化」「ニッチ分野で多角化経営」「相合*してシナジーを創出」の3つです。これら3つの強みがかけ合わされ、シナジーが生まれることにより、環境・社会的な価値と同時に経済的な価値が創出され、財務・非財務の資本が積み重ねられてまいりました。それらを活用して、3つの強みがさらに磨かれていくことにより、持続的な成長を実現してまいります。

*相合:「総合」ではなく、「相い合わせる」ことを意味し、自社保有技術を融合、活用して「8本槍」を進化させるとともに、その進化した製品をさらに相合することでさまざまな分野で新たな製品を創出すること。

創出する経済価値

- 高品質による環境貢献型製品
- 相対的な低価格と、高度な製品信頼性による社会資本の効率的な利用
- 多数のNo.1製品
- 高い営業利益率
- 高収益力に裏打ちされたキャッシュ創出力
- 株主資本利益率(ROE)
- 投下資本利益率(ROIC)



創出する環境・社会的価値

- 大量生産と環境負荷低減の両立
- 環境貢献型製品の創出
- IoTを活用したスマートインダストリーへの貢献
- 新興国の農業従事者を先端技術領域に参画
- グローバルでの女性活躍



ミネベアミツミは摩擦を低減してエネルギー効率を向上させるボールベアリングをはじめとする環境貢献型製品を供給することなどを通して環境価値を、新興国における農業従事者を啓発し最先端のテクノロジーへの参画を促すことなどを通して社会的価値を創出しています。

このように、社会的課題の解決と経済価値の創出が調和した事業活動を実現しています。

また、これらの活動を通して、国連が提唱しているSDGsの実現も目指しています。

第1章 ミネベアミツミの価値創造ストーリー

ミネベアミツミの強み

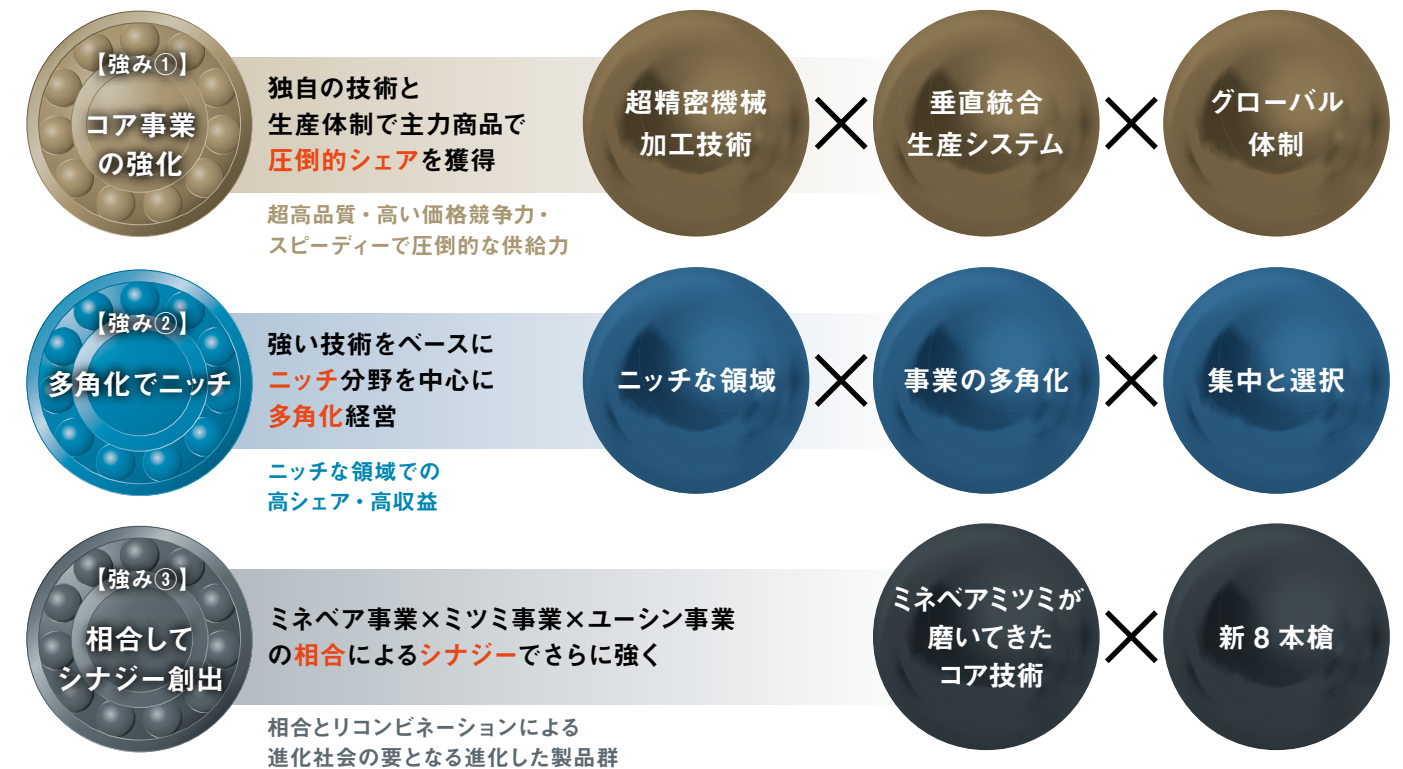
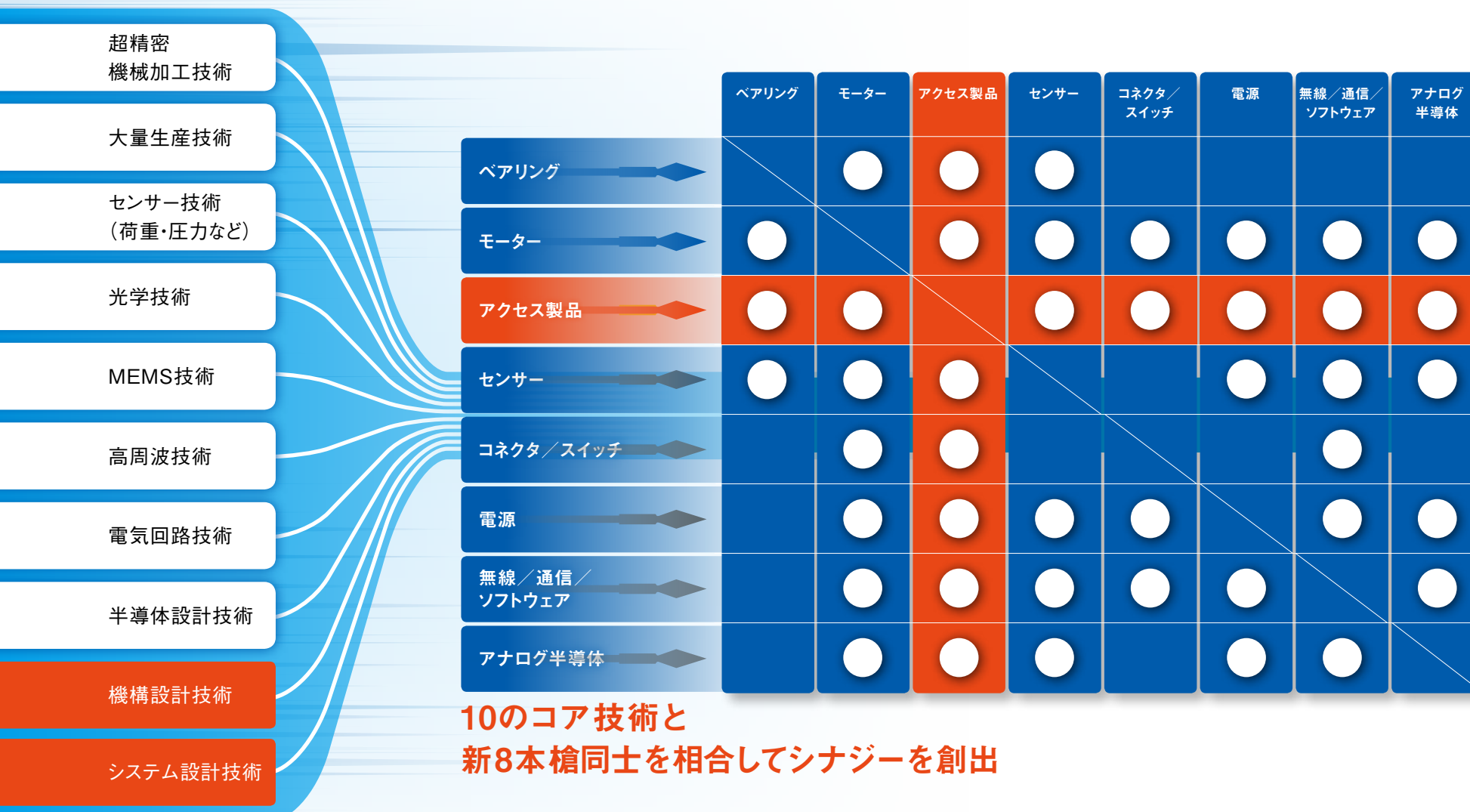
3つの強みが常識を超える「違い」を生み出す

超精密機械加工技術、大量生産技術をはじめとするミネベアミツミが磨いてきた10の**コア技術**を融合・活用することで、**8本銃製品**のそれぞれを進化させるだけでなく、その進化した製品を**相合、リコンビネーション**し、新たな事業機会を創出します。

例えば、世界シェアNo.1のミニチュア・小径ボールベアリングにセンサーや無線技術などの付加価値をモジュール化し、モノとモノがつながるIoT社会の一翼を担う世界に類を見ないユニークな製品・サービスを提供していきます。

ユーシンとの経営統合により、2つのコア技術「**機構設計技術**」「**システム設計技術**」を獲得。

また、8本目の銃として「**アクセス製品**」が追加されました。アクセス製品は他の7本銃すべてとのシナジーが期待できます。



相合してシナジーを創出 ▶ 新たな価値の創造



相合してシナジーを創出している例

- 超高効率のボールベアリング、制御IC、センサーを使用した精密小型モーター
- 交換時期を判別するベアリング＋センサー
- フィルム型高感度ひずみゲージ「ミネージュ®」＋精密ロボティクス用ADC
- コネクタ/スイッチ＋電源を使用したカーエレクトロニクスやモバイルデバイス

第1章 ミネベアミツミの価値創造ストーリー

持続的成長に向けて

コア事業と各種技術を相合し、 社会的課題の解決に貢献しながら 持続的に成長

当社は、積み重ねられた非財務資本と財務資本の融合により、コア事業を強化し、多角化を進めるとともにそれらを「相合」することで新たな価値を創造してまいりました。今後も、特定された**マテリアリティ(重要課題)**を中心としたE・S・Gの課題を機会、リスク両面でとらえ、独自の強みを活用しながら持続的な成長に向けた取り組みを続け、売上高2.5兆円・営業利益2,500億円の定量目標を長期目標に掲げ、**SDGs**への貢献とともに世界のお客様の役に立つ価値を提供し続けます。

メガトレンド
環境・社会の
課題(事業機会)

環境(E)

- 地球温暖化
- 生物多様性
- エネルギー危機
- 資源の枯渇
- 自然災害

社会(S)

- 情報セキュリティの強化
- AI、IoT社会の進展
- 世界人口の増加
- 食糧危機
- 先進国の少子高齢化
- 格差拡大

マテリアリティ(重要課題)とSDGs

すべての従業員が力を最大限発揮できる職場づくり

- 1 従業員の安全と健康 S
- 2 働きやすい職場づくり S
- 3 グローバル規模の人材育成 S
- 4 グローバル規模のダイバーシティの推進 S

社会の発展に貢献する新しい価値の創造

- 5 環境貢献製品の創出 E
- 6 地域社会との対話と発展への貢献 S
- 7 社会課題を解決するソリューション創出 S

社会を支える精密部品の安定供給

- 8 安全・安心な製品の供給 S
- 9 責任ある調達推進 S
- 10 リスクマネジメントの強化 G

マテリアリティ P.40

独自の強みと
非財務資本

【強み①】
コア事業
の強化

【強み②】
多角化でニッチ

【強み③】
相合して
シナジー創出

製造資本

人的資本

知的資本

2029年3月期に目指す姿

定量目標



次の10年 基本戦略

新8本槍と世界最強の「相合」精密部品メーカーへ

1. 新8本槍に変更

3. 新市場の開拓

2. 新製品を市場投入

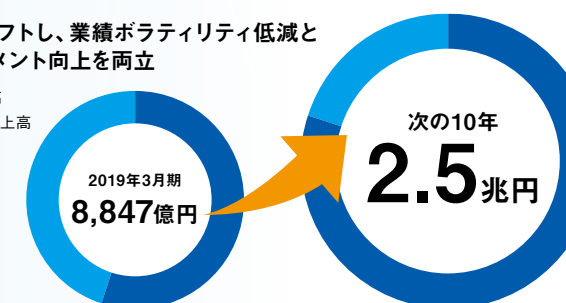
4. 積極的なM&A

+ デジタルライゼーション

人材育成(後継者育成含む) + 財務規律を伴う株主還元

コア事業にシフトし、業績ボラティリティ低減と
リスクマネジメント向上を両立

- コア事業売上高
- サブコア事業売上高



エレクトロ メカニクス
ソリューションズ®
プロバイダーとして
社会課題の解決に
向けた挑戦を続けます。

ガバナンス(G)

- 経営の透明性確保
- 資本効率の向上
- 汚職・腐敗防止
- グループガバナンス強化

五つの心得

従業員が誇りを持てる会社でなければならない
お客様の信頼を得なければならない
株主の皆様のご期待に応えなければならない
地域社会に歓迎されなければならない
国際社会の発展に貢献しなければならない

社は「五つの心得」の精神である「ステークホルダーと向き合い、透明性の高い経営を実践する」という企業DNAが定着し、受け継がれることにより、持続的な成長を支えている。